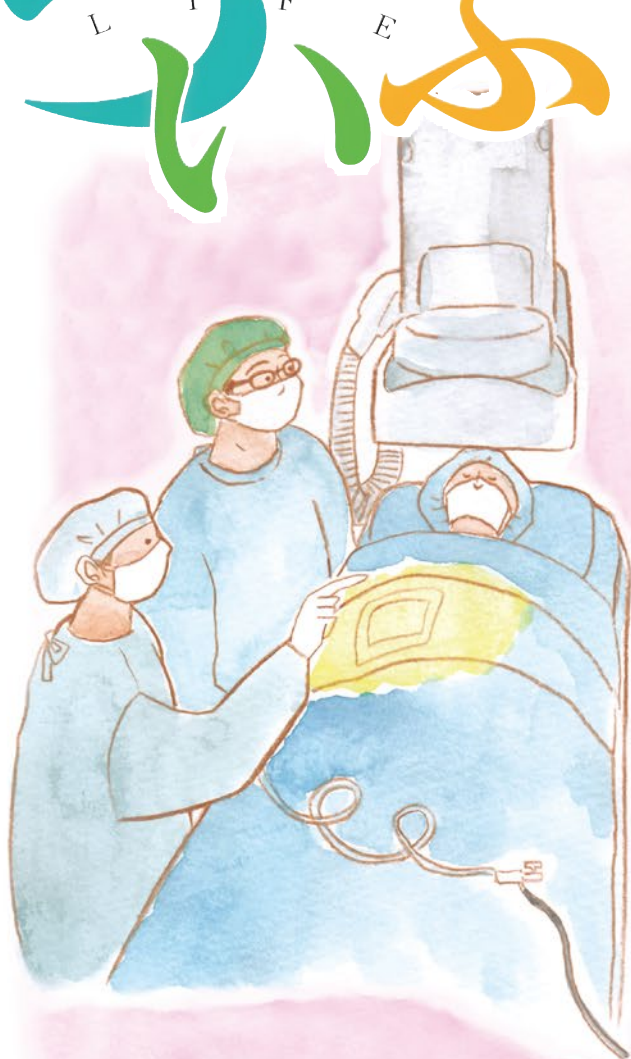




松下記念病院

Vol.41

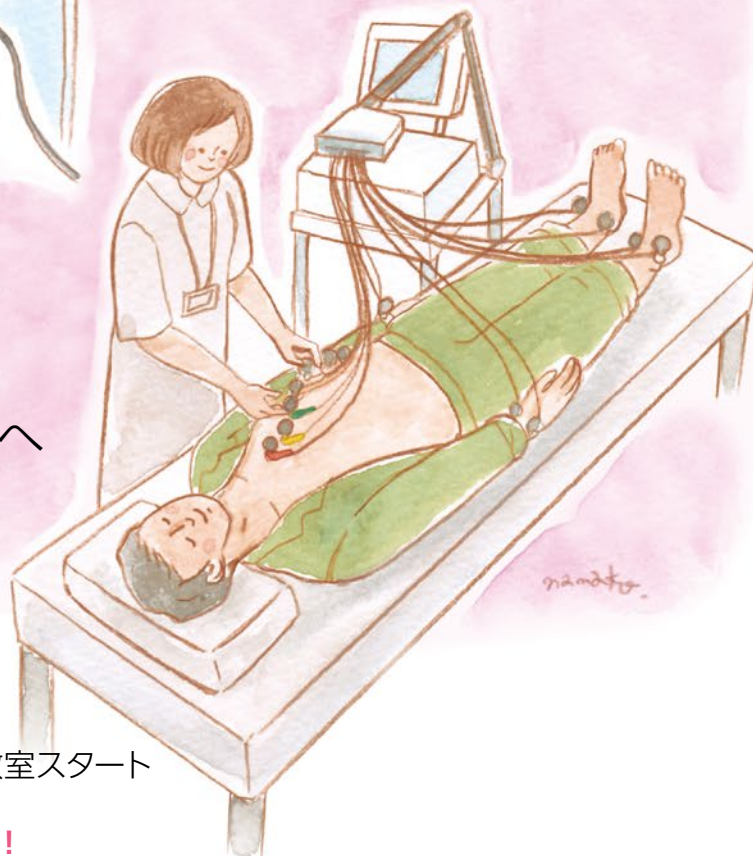
春号
2018



診療科
見学note 循環器内科

特集

そのお悩み・不安
患者支援連携センターへ
ご相談ください



● 病院のなかにこれ？
精神保健福祉士

● 医学カンタン講座
乳がん・子宮がん

● News Spot
院内案内図

● news
カラコロ体操教室スタート

● みんなで学ぼう！
松下記念病院のセミナー・講演会



「循環器」の主な病気は・・・

心臓・血管に不都合をきたした時に起こる病気です。
冠動脈の動脈硬化が進行し、血流が低下して胸が苦しくなってくる**虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞など）**、大動脈弁や僧帽弁の調子が悪くなる**弁膜症**、動悸がしたり脈が飛んだりする**不整脈**などがあります。これらの疾患により心臓の機能が低下した状態を**心不全**と言い、心不全になると息切れや呼吸困難が起こります。

今回は急性心筋梗塞を取り上げます。

「急性心筋梗塞」とは・・・

心臓には筋肉（心筋）に栄養をおくる血管が3本あり、これを冠動脈といいます。冠動脈にプラークと呼ばれる脂肪を貯めこんだ動脈硬化病変が破綻し、血の固まり（血栓）がつくられて、血流が止まり、心筋の組織が死んでいくのが急性心筋梗塞です。このため、心臓の動きは悪くなり、不整脈や心不全を起こして、死に直結する病気です。

大切なことは、**胸が圧迫されるなどの不快感を感じたときは、いち早く、かかりつけの先生や最寄りの病院を受診することです。**動けないときは救急車を呼んでください。

「急性心筋梗塞」の診断

症状

恐怖感を伴う激しい胸部圧迫感や胸が締め付けられる不快感が持続したり、狭心症の薬（ニトログリセリン）を飲んでも効かない、もしくはこれらの症状を短時間に繰り返します。

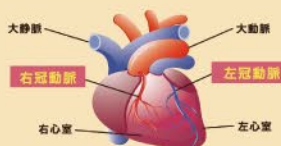
一番早く現れ、診断上最も重要です。

以上の3点で急性心筋梗塞は診断され、迅速血液検査や点滴、抗血小板薬の内服など、必要な処置を行い、すぐに治療が始まります。

当院では、3Dエコー、ホルター心電図、加算心電図・心音図をはじめ、冠動脈CT（64列マルチスライスCT）、心臓MRI、心筋シンチグラフィ、心臓PET-CTと最新鋭の機器を駆使し、心筋梗塞・狭心症、弁膜症、心筋症、各種不整脈、心不全などの診断・治療にも力を注いでいます。

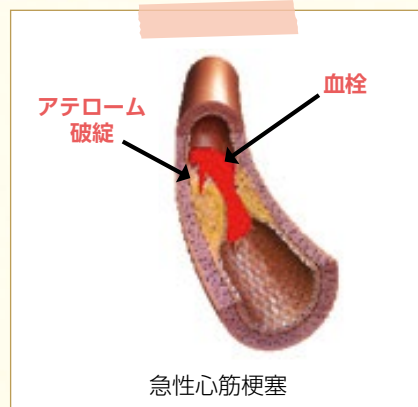
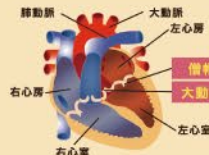
狭心症・心筋梗塞

冠動脈（右冠動脈・左冠動脈）の血流が低下し、心筋に血液が行き届かなくなる病気



弁膜症

大動脈弁・僧帽弁がきちんと開かなかったり、逆に閉じなかったりする病気



心電図

受診時すぐに行います。特有の変化（STの上昇）が現れます。また、不整脈を起こしやすく、最大限の注意観察を行います。

心エコー図

心臓の動きが落ちていること（心筋壁の運動低下）を確かめます。



心電図装置



3Dエコー装置

「急性心筋梗塞」の検査と治療

虚血性心疾患と閉塞性動脈硬化症はいずれも血管の病気で、**カテーテル治療**で狭くなった血管を広げるインターベンションを循環器内科で行っています。

	発生部位	検査方法
虚血性心疾患	心臓	冠動脈CT、冠動脈造影検査
閉塞性動脈硬化症	足	下肢動脈MRI、造影CT、 下肢動脈造影検査



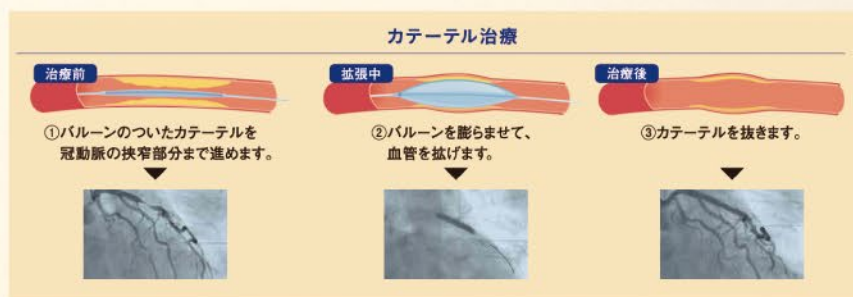
カテーテル治療
主に上肢からカテーテルを挿入します

緊急カテーテル検査

当院では主に右の手首に局所麻酔を行い、その動脈からレントゲンを見ながら細い管（カテーテル）を挿入して冠動脈の入り口に留置し、造影剤を使用して血管を撮影します。この方法で心筋梗塞を起こしている閉塞血管（責任病変）を確認します。

緊急冠動脈インターベンション

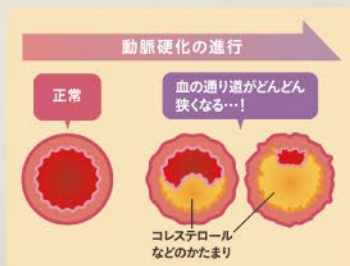
緊急造影に引き続き、治療用のカテーテルに交換し、このカテーテルから、髪の毛程度の細いワイヤーで、閉塞部を通過させます。次に特殊な管で、閉塞部の血の固まりを吸引します。最後に病変部分で風船を拡張し、金属製の網目の筒（ステント）を留置し、閉塞していた血管を元の太さにして、血流を再開させます。



- 術後は、集中治療室で安静をとり、病状の観察を行います。
- お薬による治療として、血液をサラサラにする薬（抗血小板薬）2種類を服用します。
- 動脈硬化を引き起こす病気（冠危険因子）のコントロールを行います。高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満・喫煙を厳重に管理するため、投薬を必要とする場合があります。

生活習慣が原因でかかる病気もあるのですか？

狭心症や心筋梗塞の主な原因は、**動脈硬化**です。動脈硬化は、**糖尿病・高血圧症・高脂血症**などの生活習慣病や**肥満・喫煙**が誘因となって進行し、血管が狭くなったり、閉塞したりします。動脈硬化の進行は自覚がなく気付にくいので、40歳以上の方は、年に1度健診を受けて血圧や血糖値などをきちんと管理することが大切です。また、動脈硬化によって足への血流が悪くなり、歩いていると足が痛くなったり、しびれたりする**閉塞性動脈硬化症**も増加しています。



予防するためにはどうしたら良いですか？

動脈硬化を予防することがもっとも大切です。健康診断などで、動脈硬化の原因となる糖尿病・高血圧・高脂血症・肥満の管理と禁煙を心がけてください。異常があれば適切な治療を行うことが必要ですので早期に受診してください。日常管理として毎日の血圧や体重を測定し、記録することをお勧めします。自分にあった食事や運動の必要性がわかります。

患者支援連携センターでは、病気、治療、介護制度、医療にかかる費用などさまざまなご相談に応じています。相談内容につきましては守秘義務を徹底しておりますので、安心してご相談ください。



がん相談

- **がんの治療**に関して悩んでいることがあるんだけどなあ
- **痛み**が強くなってきたけどやわらげる方法はないかなあ
- 治療していくけど**仕事を続けられるか**相談したい

医療福祉相談

- **医療費**や**福祉制度の内容**、その手続きについて知りたい
- 手術するけど**経済的な不安**があるなあ
- **退院後の生活**についてどうすればいいのかなあ

医療安全相談

- 先生が言ってた**治療内容**どういうことなんだろう
- 医療スタッフからの**説明がわからない**
- 自分の言っていることが**医療スタッフに伝わらない**

療養相談

- この**お薬**どういうお薬なんだろう
- **退院・転院**、**かかりつけ医**について相談したい
- 他の病院の先生の意見も聞きたいなあ (**セカンドオピニオン**)

よろず相談

- 最近のこんな**症状**が気になる
- どの**診療科**を**受診**すればいいんだろう
- **職員の対応**について話したい

どんな相談でも内容に応じて専門スタッフと連携し
ご相談をお受けします



ご相談は
無料です

松下記念病院 患者支援連携センター

お問い合わせ 06-6992-1231 (代) 月～金 8:45～16:45

※直接ご来室された場合、状況によっては長時間お待ちいただいたり、あらためて面談予約をおとりする場合があります。
事前にご連絡の上、ご希望の日時を調整することをお勧めいたします。



MSW 松原 真美
(医療ソーシャルワーカー)

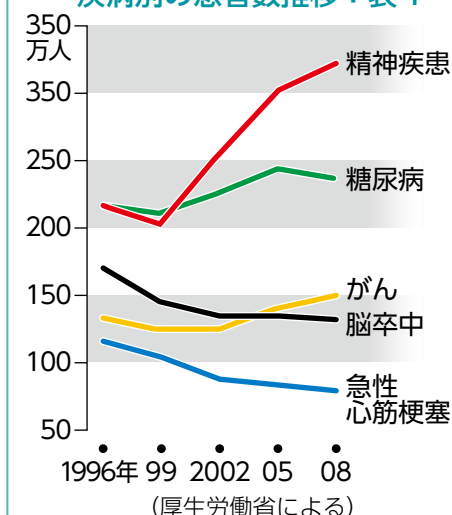
高ストレス社会といわれる現代でうつ病や認知症の患者さまが年々増加しています。また、年間3万人に上る自殺者の約9割が心の病気を抱えていたと推測され、うつ病は、がん患者の約15～25%が罹患するといわれています。

このような社会背景の中、厚生労働省は、2013年より従来の4大疾病*に“精神疾患”を加え、5大疾病としました。2008年の調査によれば、精神疾患患者は10年で1.5倍増加し、がん患者数の2倍以上です。

(表1：疾病別の患者数推移)



疾病別の患者数推移：表1



※4大疾病とは、『患者数が多く、死亡率が高い緊急性が高く、またきめ細かな対応を必要とする病気』として、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病を指定しています。

精神保健福祉士とは、精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。心の病を抱えるがゆえに起こる様々な問題に対する援助を行うことで、円滑に生活を送れるよう支援する役割があります。それゆえ、今後ますます必要とされる資格の一つといえます。

当院は短い入院期間で、より早く退院後の生活を視野に入れ、入院時より患者支援連携センターが退院指導を行っています。

当院の患者さまにも身体疾患だけでなく、うつ病や認知症のある方が増えてきており、従来の業務である介護保険等の身体疾患に伴う制度の提案に加え、精神保健領域の制度やサービスを併せて提案する必要性が高くなってきました。

精神保健福祉士の資格取得で得た知識を活用し、福祉のスペシャリストとして医師や看護師などと共に、患者さまが治療期から社会復帰や地域での生活に円滑に移行できるよう努めたいと考えています。

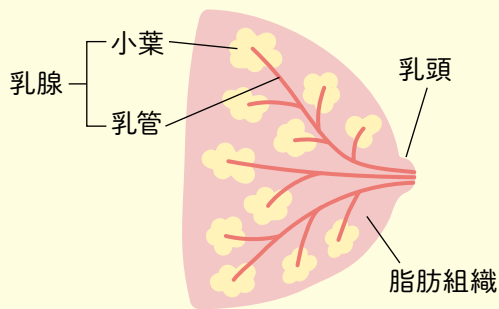
まずは、社会生活を送るうえで不安なことがありましたら、いつでも患者支援連携センターにご相談ください。



乳がん&子宮がん

乳がん

乳がんは女性のがん罹患数第1位！
40～50歳代に多く、およそ12人に
1人が乳がんになると言われていま
すが、早期に発見できれば治癒率の
高いがんです。



女性ホルモン
(エストロゲン)の
分泌期間などが
影響します

どんな病気？

乳がんは、乳腺組織に発生するがん（悪性腫瘍）
です。乳腺組織は母乳を作る「小葉」と、母乳を
乳頭まで運ぶ「乳管」に分けられますが、乳がん
のうち、約90%は「乳管」から発生する乳管がん
です。

主な発症リスクは？

- | | |
|--|---|
| ☐ 初経年齢が早い | ☐ 閉経後の肥満 |
| ☐ 閉経年齢が遅い | ☐ 良性の乳腺疾患に
なったことがある |
| ☐ 出産・授乳経験がない | ☐ 喫煙 |
| ☐ 乳がんになったことのある
家族がいる | など |

自己チェック&検診受診で早期発見！ 40歳になったら1～2年に一度はマンモグラフィ検査を受けましょう。
※乳腺の発達している30歳代までは、超音波検査が適している場合があります。

月1回の自己チェック

- ✓ 鏡の前で乳房の形をチェック
- ✓ しこりがないか触ってチェック
(わきの下のリンパ節も忘れずに)
- ✓ 乳頭からの分泌物がないかをチェック

+

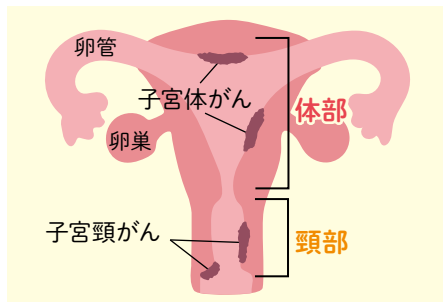
40歳になったら 1～2年に1回の検診受診

マンモグラフィ検査
(必要に応じて超音波検査)

20～30歳代は
必要に応じて
超音波検査を。

子宮がん

がんができる場所によって「子宮頸がん」と
「子宮体がん」に分けられる子宮がん。
「子宮頸がん」は20～30歳代に、「子宮体がん」
は50歳以降に多く見られます。



子宮頸がん

どんな病気？

子宮頸部の入り口にできる
がん（悪性腫瘍）。ヒトパ
ピローマウイルスの感染が
主な原因です。がんになる
まで5～10年以上かかると
言われています。

主な 発症リスクは？

- | | |
|-------------------------------------|----|
| ☐ 低年齢での性体験 | |
| ☐ 性的パートナーが多い | |
| ☐ 喫煙 | など |

検診受診が早期発見の第一歩！

子宮頸がんは、定期的に検診を受ければ、ごく初期の段階で
見つけることが可能な病気。20歳を過ぎたら1～2年に一度は
検診を受診しましょう！

子宮体がん

どんな病気？

子宮体部の子宮内膜に多く発生するがん
(悪性腫瘍)で、主に閉経後に発症します。
閉経時の不調と症状を混同しやすいの
で、注意が必要です。不正出血など気にな
る症状があるときは、すぐに医師の診察
を受けましょう。

主な発症リスクは？

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 閉経年齢が遅い | ☐ 肥満 |
| ☐ 出産歴がない | ☐ 糖尿病、高血圧 |
| | など |

2 階



カラコロ体操教室スタート

介護を必要とする高齢者などが生活機能や健康状態をセルフコントロールしながら、できる限り住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域で活躍できる場が必要とされています。

そこで、「地域でいきいき健康づくり～カラダもココロも元気に～」をスローガンに、地域における高齢者の交流の場として松下記念病院の講義室を開放します。民謡や童謡に合わせて身体を動かすカラ（からだ）コロ（こころ）体操教室を開催します。

ぜひご参加ください。

日 時：毎月第3火曜日 11:00～11:45
 (2018年5月・8月・12月は会場の都合上、お休みです)
 場 所：松下記念病院 2階 講義室
 持ち物：タオル、水分
 動きやすい服装でお越しください

参加費
無料

予約
不要

地域でいきいき健康づくり～カラダもココロも元気に～

カラコロ体操

民謡や童謡に合わせて簡単な体操を行います



参加費
無料
予約
不要

日 時：毎月第3火曜日
 (5/15・8/21・12/18はお休みです)
 11:00～11:45
 場 所：松下記念病院 2階講義室
 持ち物：タオル、水分
 ※動きやすい服装でお越しください

正面玄関横 総合案内で
お声かけください。

みんなで
学ぼう!

今後のセミナー・
講演会の予定

松下記念病院では、地域住民みなさまの健康づくり支援を目的として「市民健康セミナー」「市民公開講座」など啓発活動に取り組んでいます。

松下記念病院 第39回 市民健康セミナー

日 時：2018年3月17日(土)
 13:30～(13:00 受付開始)
 場 所：松下記念病院 2階講義室
 テーマ：乳がんを正しく知ろう
 ～ふだんの生活で注意したいこと～

松下記念病院
第39回 市民健康セミナー

乳がんを正しく知ろう

～ふだんの生活で注意したいこと～

日 時：平成 30年 3月 17日(土)
 13:30～ (13:00 受付開始)

講師：山口 正秀 【乳腺内分分泌外科部長】
 『乳がん予防と早期発見』

無料

講師：坂本 由香 【乳がん看護認定看護師】
 『セルフチェックで自分を守る』

講師：高平 由香 【理学療法士】
 『乳がんと運動』

場 所：松下記念病院 2階 講義室

患者支援連携センター
参加ご希望の方は事前に下記までお申込みください
 (当日午後1時～5時まで)

06-6992-5373

3月13日(木)

松下記念病院 第5回 市民公開講座

日 時：2018年5月19日(土)
 14:00～16:00(13:30 受付開始)
 場 所：守口市生涯学習情報センター
 ムーブ21 4階イベントホール
 テーマ：食(栄養)と胃腸の密接な関係

松下記念病院
第5回 市民公開講座

『食(栄養)と胃腸の密接な関係』

日 時：2018年5月19日(土)
 14:00～16:00 (13:30 受付開始)

講演1 14:10～14:40
 消化器(胃腸)と健康
 ～腸内フローラ～

講演2 14:40～15:00
 今日から腸活
 始めませんか?
 ～免疫力を高める食事の知恵～

講演3 15:10～15:40
 地域包括ケアシステム
 守口市の現状と未来

場 所：守口市生涯学習情報センター
 ムーブ21 4階 イベントホール
 大ホールから徒歩2分 14:10～15:00
 地下鉄大日駅より徒歩 5分

問合せ先
 松下記念病院 患者支援連携センター
 TEL 06-6992-5373

後 援 一般社団法人 守口市医師会

